

# 新春を迎えて

川越市長

川合善明



明けまして

おめでどういづいませす

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対しまして、深いご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本中が沸き立ったソチオリンピックをはじめ、箱根駅伝での東洋大学陸上競技部の4度目の総合優勝、全国高等学校野球選手権埼玉大会における市立川越高校の準優勝、尚美学園大学の学生と卒業生がメンバーとなっている女子野球日本代表チームのワールドカップでの4連覇などスポーツの素晴らしさを感じた一年でした。

2020年には、東京オリンピックのゴルフ競技が市内の霞ヶ関カントリー倶楽部で開催される予定となっております。昨年11月には、市内関係団体の代表者により構成される「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会川越市支援委員会」が設立されました。全市を挙げて大会の円滑な運営に向けて準備を進めるとともに、オリンピック開催を契機として、スポーツ、観光、文化芸術、教育等の振興から地域全体の活性化につなげてまいります。

市政におきましては、引き続き「四つの川越づくり」と第三次川越市総合計画後期基本計画に掲げる小江戸かわごえ重点戦略を連携させて事業を推進してまいります。

## 子育てが楽しい川越づくり

待機児童の解消に向け、保育所の新築等に対する補助を行うことにより、新年度から4か所の民間保育所が新たに開園するなどし、定員が360名増える見込みです。また、4月から開始する「子ども・子育て支援新制度」の実施に当たり、「子ども・子育て支援事業計画」を策定

し、安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるよう各施策に取り組んでまいります。

## 活力と魅力ある川越づくり

川越駅西口地区につきましては、昨年、駅前広場の改修が完了し、本市の新たな玄関口として生まれ変わりました。この春には、いよいよウエスタ川越がオープンいたします。ウエスタ川越は、約1700席の大ホールや市民活動・生涯学習施設など市の施設、川越地方庁舎など県の施設、民間のにぎわい施設で構成されます。今後、本市のみならず、県西部地域活性化の拠点となるものと大いに期待しております。このほか、新斎場建設、新河岸駅周辺地区や本川越駅周辺地区などの都市基盤整備を着実に進めてまいります。

## 快適で安心できる川越づくり

昨年4月、これまでの出張所および川鶴連絡所の11か所を市民センターに改組いたしました。現在、市民センターを中心に、管内ごとに地域の自主的な活動の促進や協働による地域づくりの推進を図る新たな仕組みとして、地域で活動している団体等が主体となって運営する「地域会議」の設置を進めております。本庁地区においても「地域会議」の設置による地域づくりを検討しております。会議を通じた協力・連携により、地域課題の解消に向けた取り組みを行うとともに地域コミュニティの充実を図り、魅力ある地域づくりを進めてまいります。

## 持続可能な都市、川越づくり

第三次川越市総合計画が平成27年度で期間満了となることに伴い、現在、第四次川越市総合計画の策定を進めております。人口減少と少子高齢化の進行を意識し、安全で安心な生活の実現とまちの魅力・活力の向上を目指した計画を策定してまいります。今後、厳しい社会状況の下にあっても持続的な発展ができるよう、特色のあるまちづくりに取り組んでまいります。皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。